

A STUDY ON THE EFFECTIVENESS OF CATHODIC PROTECTION FOR STEEL BARS IN CONCRETE STRUCTURES

アクバル チャロニ, ムハマド

<https://doi.org/10.15017/1543954>

出版情報：九州大学, 2015, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏名	Muhammad Akbar Caronge (ムハマド アクバル チャロニ)		
論文名	A STUDY ON THE EFFECTIVENESS OF CATHODIC PROTECTION FOR STEEL BARS IN CONCRETE STRUCTURES (コンクリート構造物に埋設された鉄筋に対する電気防食の防食効果に関する研究)		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 濱田 秀則
	副査	九州大学	教授 日野 伸一
	副査	鹿児島大学	教授 武若 耕司

論文審査の結果の要旨

本論文は、犠牲陽極方式の電気防食が鉄筋コンクリートに対しても十分に効果を有することを明らかにし、外部電源方式の電気防食の二次的効果として鉄筋周囲の腐食環境が改善されること、それにより、電気防食の効果は時間の経過とともに徐々に大きくなり、鉄筋表面の不動態の状態も徐々に改善されることを明らかにしている。これらの結果は、コンクリート中の鉄筋の電気防食の合理的設計の確立に大きく貢献するものである。

よって、本論文はコンクリート工学および維持管理工学上寄与するところが極めて大きく、博士(工学)の学位論文に値するものと認める。